



日本専門新聞協会加盟紙 国土交通省交通運輸記者会所属 発行所 東京都台東区池之端2-7-17 井門池之端ビル 110-0008 株式会社 観光経済新聞社 電話 03(3827)9800(代) FAX 03(3827)9730

北海道支局 札幌市中央区北6条西27丁目1-3-705 電話 011(634)5030 FAX 011(652)2580

東北支局 山形市緑町4-14-57 電話 023(687)0702 FAX 023(687)0665

西日本支局 大阪府北区梅田1丁目11番4-1000号 大阪駅前第ビル 電話 06(6131)6914 FAX 06(6131)5850

購読料年間14,300円(税・送料込) (税抜13,000円) 振替口座 00140-2-86888番 e-mail info@kankokeizai.com

「煙」を分けて 「人」を分けられない分煙。 喫煙者専用 スモークポイント。 お問い合わせ先 株式会社 Fujitaka 0120-533-771 www.smokepoint.jp

持続可能な観光に注力

観光庁 発足から15年



高橋 一郎氏(たかはし いちろう) 1988年運輸省(現・国土交通省)入省。2013年観光庁参事官、14年同観光戦略課長、15年同総務課長、17年内閣審議官、18年内閣官房東京オリパラ大会事務局統括官。19年観光庁次長。21年国土交通省海事局長。23年7月から現職。東大法学部。東京都出身。59歳。

観光庁は、2008年10月1日の発足から15年の節目を迎えた。インバウンドの拡大や国内における旅行消費額の増加に成果を挙げたほか、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

高橋一郎長官 特別インタビュー

――発足から15年。観光庁の成果は、一言でまとめると、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

総力挙げて地方誘客促進 稼げる産業、基幹産業に

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

夢と誇り持てるように 観光産業は人を幸せにする仕事

高橋長官は長官就任以前にも観光庁で約5年間仕事をしていた。国を元気にしたい、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。



高橋一郎氏(たかはし いちろう) 1988年運輸省(現・国土交通省)入省。2013年観光庁参事官、14年同観光戦略課長、15年同総務課長、17年内閣審議官、18年内閣官房東京オリパラ大会事務局統括官。19年観光庁次長。21年国土交通省海事局長。23年7月から現職。東大法学部。東京都出身。59歳。

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

観光庁は、観光産業の生産性向上、観光地域づくりを担うDMOの育成などに注力してきたが、コロナ禍を経て、積み残しの課題が顕在化し、新たな問題にも直面している。観光庁の高橋一郎官は観光立国復活への取り組みなどについて語った。

本社テーマ 観光立国の実現は、地方(地域)から since 1950

今週の紙面

2面

8月の訪日、回復率8割超 日本政府観光局(JNTO)が発表した8月の訪日外国人旅行者数(推計値)は215万6900人。19年同月比14.4%減で、コロナ前に対する回復率は初めて8割を超えた。

3面

法令順守を全方位から KNT-CTホールディングスは、子会社の近畿日本ツーリストによる過大請求事件を受けて再発防止策を発表した。法令順守研修を担う教育機関の新設など、全方位から取り組む。

9面

青年部全国大会は宮崎県 全旅連青年部が臨時総会を開き、来年の第27回全国大会の開催地を宮崎県に決めた。開催日は来年12月9～11日ごろ、会場はシーガイアを予定。

11面

「産業観光」金賞に越前市 全国産業観光推進協議会・日本観光振興協会は、「産業観光まちづくり大賞」の金賞を福井県越前市と市観光協会に決めたと発表した。

観光庁発足 15周年特集 (4～6面)

ツーリズムEXPO ジャパン特集 (第2部)

観光経済新聞 kankokeizai.com

JAPAN SPECIALIZED NEWSPAPERS ASSOCIATION 読者総数 1,200万人

祝 観光立国推進へ「観光庁」発足15周年

- 日本観光振興協会 会長 山西 健一郎
- 日本旅館協会 会長 大西 雅之
- 全国旅館ホテル業同業組合連合会 会長 井上 善博
- 全国旅館ホテル業同業組合青年部 部長 塚島 英太
- 日本旅行業協会 会長 高橋 広行
- 全国旅行業協会 会長 二階 俊博
- 日本ホテル協会 会長 定保 英弥
- 全日本ホテル連盟 会長 清水 嗣能
- 日本温泉協会 会長 笹本 森雄
- 国際観光日本トラス協会 会長 安田 真一
- 日本コンベンション協会 代表理事 近浪 弘武
- 日本添乗サービス協会 会長 金澤 悟
- 日本ナショナルトラスト 会長 安富 正文
- 日本ホテル教育センター 理事長 石塚 勉
- 宿泊施設関連協会 代表理事 会長 林 悦男